

参加料  
**無料**  
(事前申込要)

## シンポジウム

## 創発型責任経営でSDGsに挑戦する

2015年9月に国連サミットで2016年から2030年の国際社会共通目標となる「持続可能な開発目標(SDGs) (以下、SDGs)」が掲げられました。これには、企業にも主導的に解決を担うよう求められています。その他にも日本固有の少子高齢化、地方創生、働き方改革などの社会的課題も山積し、企業には対応を迫られています。

本講演では、CSR(Corporate Social Responsibility) 経営の第一人者である神戸大学副学長の國部克彦先生をお招きして、先生の新しい理論である「創発型責任経営」にもとづく社会的課題の解決についてお話を伺います。さらに、創発型責任経営の考え方を活かして、SDGsに示されるような社会的課題を解決する実践を検討します。具体的にSDGs貢献に向けた取り組みを行っている企業、団体、学生からの報告を行い、これらの事例を通じてどのようにSDGsに取り組むべきかを議論します。

日時  
令和元年**11月29日** 金  
15:00~17:45

場所  
公立鳥取環境大学  
講義棟100講義室【定員:200名】

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



## プログラム

## (第1部 特別講演)

- 15:00~15:05 開会挨拶  
公立鳥取環境大学 学長 江崎 信芳
- 15:05~15:15 解題 SDGsと企業経営  
公立鳥取環境大学 経営学部准教授 中尾 悠利子
- 15:15~16:15  
基調講演 創発型責任経営でSDGsに挑戦する  
神戸大学 副学長/経営学研究科教授 國部 克彦氏



コクブ カツヒコ  
國部 克彦  
神戸大学大学院  
経営学研究科教授

1962年生まれ。大阪市立大学博士(経営学)。大阪市立大学助教授、神戸大学助教授、LSE客員研究員等を経て、2001年より現職。2019年より神戸大学副学長。専門は社会環境会計、経営倫理。主著(共編著を含む)は、『アカウントタビリティから経営倫理へ』(有斐閣、2017年)、『CSRの基礎』(中央経済社、2017年)、『マテリアルフローコスト会計の理論と実践』(同文館出版、2018年)、Sustainable Management and Business Strategy in Asia. (World Publishing Company、近刊)など。

## (第2部)

- 16:30~17:15 事例報告
  1. リコージャパンにおけるSDGsの取り組み  
リコージャパン株式会社 鳥取支社  
支社長 野口 成光氏
  2. 学生による主体的な  
住み込み型の研究・実践活動  
大山町地域おこし研究員 松浦 生氏
  3. 大学生から見たSDGs普及の現状  
本学環境学部3年・地球環境を考える会  
福島 雅之さん
- 17:15~17:45 ディスカッション  
コーディネーター:中尾 悠利子  
パネリスト:講師全員
- 17:45 閉会

## お申込み方法

参加には事前のお申込みが必要です。FAXでのお申込みには裏面の参加申込用紙をご利用ください。またメールでのお申込みも受付しております。後日、参加申込受付完了メールをお送りいたします。



公立鳥取環境大学  
Tottori University of Environmental Studies

主催:公立鳥取環境大学

後援:鳥取県、鳥取市、(公財)とっとり県民活動活性化センター、とっとりSDGs推進会議

問合せ先:公立鳥取環境大学 企画交流推進課 TEL:0857-38-6704 FAX:0857-32-9053 E-mail:event@kankyo-u.ac.jp